

# 振甫中生徒会 NEWS

## 「貿易ゲーム」国際理解について(2024. 10. 1)

生徒会と有志の生徒86名で貿易ゲームを行いました。貿易ゲームとは、世界で行われている国家間のやり取りや、世界情勢を簡易化したゲーム形式の国際理解学習です。

生徒会執行委員の生徒が、今後 JICA 訪問のような企画を行った際に、もっと多くの生徒が参加してくれるにはどうしたらいいのかを考え、学校内で行える活動として、今回の企画を行いました。後期の生徒会活動でも、JICA 訪問や貿易ゲームのような企画を行いたいと考えています。

### <活動の様子>



### <生徒の感想より>

- ・ 新聞やネットニュースを気にして見ないことが多い中学生にとって、貿易で私たちの暮らしが成り立っていることはわかっているけど、他国と交易をする立場を想像することは難しい。環境や賃金は、自分が生まれた国によって異なり、不利な環境を変えなければ子供、そして孫の代、その先まで貧困が続いていく「貧困の連鎖」となる。今回の貿易ゲームはゲームだけでなく、その後自分自身で世界の情勢について考えることが一番重要だと感じた。貿易ゲームでは予測不能なルールがいくつか追加された。実際に災害や恐慌は予測できない。だからこそ、国民（チーム全員）でよく話し合って、仕事を分担し国（チーム）を支えていかなければいけない。それと同様に、世界各国で人種や民族、言語が違っても「同じ地球に住む人間」であることに変わりはない。今回の貿易ゲームで、同じ学校の生徒だから他のグループと協力できたように、現在の世の中も、人と人が協力し合える「誰一人として取り残さない」星になればいいなと私は思う。そのために自分は何ができるのか、その一つが今回の貿易ゲームだと思う。
- ・ 各チームで違った戦略が見られて実際の国同士でも今回の貿易ゲームと同じようなことが行われていると考えました。また、このゲームを通してグループによって持っている資源や道具の数が異なっており、国同士の助け合いの大切さがわかりました。
- ・ このゲームを通して、自分が生活しやすい環境であることが当たり前じゃないことを改めて学ぶことができた。世界規模の活動はできないけれど、まずは身近にいる人と困っているときは助け合うなど、お互いに助け合い、補い合える関係でいたいなと思った。